

授業概要

これまで学んできた心理学のまとめとして、興味のあるテーマに沿って先行研究を検討し、研究方法を考え、結果を卒業論文として完成させる。各自のテーマに従って、データを収集・解析し、結果をまとめ、科学的に考察を行うことができるようにする。最終的に卒業論文を執筆提出する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	研究論文の書き方 1 目的と方法	第 17 回	研究方法の検討 1
第 3 回	研究論文の書き方 2 結果と考察	第 18 回	研究方法の検討 2
第 4 回	研究論文の書き方 3 図表と文献	第 19 回	研究テーマの構想確認発表
第 5 回	研究テーマ発表	第 20 回	実験・調査の実施 1
第 6 回	テーマに関する文献精読 1	第 21 回	実験・調査の実施 2
第 7 回	問題点の確認と討論 1	第 22 回	データ分析の結果発表 1
第 8 回	テーマに関する文献精読 2	第 23 回	データ分析の結果発表 2
第 9 回	問題点の確認と討論 2	第 24 回	分析結果の図表作成
第 10 回	テーマに関する文献精読 3	第 25 回	論文執筆 1
第 11 回	問題点の確認と討論 3	第 26 回	論文執筆 2
第 12 回	テーマに関する文献精読 4	第 27 回	論文執筆 3
第 13 回	問題点の確認と討論 4	第 28 回	論文の最終報告 1
第 14 回	問題点のまとめ 1	第 29 回	論文の最終報告 2
第 15 回	問題点のまとめ 2	第 30 回	卒論発表予行演習

到達目標

- ・研究テーマに関する文献を収集し、精読し内容を理解する。
- ・4年間学んだ心理学的な問題点を、科学的・論理的に考えることができる。
- ・問題点を解明するために科学的研究を行い、論文にまとめることができる。

履修上の注意

- ・テーマは学生の主体性に任せるが、神経心理学や障害児者心理学などの分野などを履修していることが望ましい。
- ・自ら積極的・自主的に研究に臨むこと。

予習・復習

- ・発表やデータ収集・解析など、授業時間以外に進める必要がある。

評価方法

- ・卒業論文 50%、各自発表した報告書 30%、授業態度 20%にて総合的に評価する

テキスト

- ・教科書は特に指定しない。
- ・必要な資料は適宜配布するか、指示する。

授業概要

これまでの学びの集大成として、心理学研究の実施と、それに基づいた卒業論文の執筆ができるよう指導する。具体的には、各自の興味のあるテーマについて先行研究をレビューしたうえで、研究目的を明らかにし、研究計画を立てる。さらに、研究計画に基づいて調査もしくは実験を実施し、収集したデータについて分析し、その結果を考察して卒業論文としてまとめられるよう指導する。

授業計画

第 1 回	進捗状況の振り返りと今後の課題設定	第 16 回	方法の執筆①
第 2 回	先行研究レビューの作成と発表①	第 17 回	方法の執筆②
第 3 回	先行研究レビューの作成と発表②	第 18 回	結果の発表とディスカッション①
第 4 回	先行研究レビューの作成と発表③	第 19 回	結果の発表とディスカッション②
第 5 回	研究目的と方法の検討①	第 20 回	結果の発表とディスカッション③
第 6 回	研究目的と方法の検討②	第 21 回	考察の発表とディスカッション①
第 7 回	研究目的と方法の検討③	第 22 回	考察の発表とディスカッション②
第 8 回	調査依頼の方法と倫理的配慮について	第 23 回	考察の発表とディスカッション③
第 9 回	質問紙の作成・実験課題の作成①	第 24 回	卒業論文執筆①
第 10 回	質問紙の作成・実験課題の作成②	第 25 回	卒業論文執筆②
第 11 回	データの収集と整理①	第 26 回	卒業論文執筆③
第 12 回	データの収集と整理②	第 27 回	要旨の作成
第 13 回	データの収集と整理③	第 28 回	卒論発表予行演習①
第 14 回	データ分析①	第 29 回	卒論発表予行演習②
第 15 回	データ分析②	第 30 回	卒論発表予行演習③

到達目標

1. 心理学研究を通して論理的思考力を身につける。
2. データ分析とそれに基づいた発表を行うことを通して、根拠に基づいて主張する力を身につける。
3. 卒業論文の執筆によって、論理的で読みやすい文章を執筆する力を身につける。

履修上の注意

- ・欠席や遅刻の場合には必ず連絡をすること。
- ・専門演習の内容をよく復習すること。
- ・卒業論文の執筆に向けて計画的に取り組むこと。

予習・復習

- 【予習】研究の進捗状況を随時発表していくので、発表資料をまとめること。
【復習】発表に対する指導内容を記録し、それに対応すること。

評価方法

卒業論文の内容（55%）、授業での発表（30%）、受講態度（15%）を総合的に評価する。

テキスト

特になし。必要に応じて適宜参考資料を紹介する。

授業概要

3年間で学んだことを踏まえ、各自研究テーマを決めて研究方法を検討し、卒業論文を完成させることを目的としている。研究テーマに沿って必要な資料やデータを収集し、分析、考察していく力を身に付ける。研究に取り組む過程で、プレゼンテーションを行うことにより、研究課題への理解を深め、最終的に論文をまとめる。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	関心のある研究論文の発表1	第17回	更なる論文、資料の収集の仕方
第3回	関心のある研究論文の発表2	第18回	方法の検討1
第4回	テーマの設定	第19回	方法の検討2
第5回	先行研究の読解1	第20回	調査・実験の実施1
第6回	先行研究の読解2	第21回	調査・実験の実施2
第7回	先行研究の読解3	第22回	調査・実験の実施3
第8回	先行研究の課題4	第23回	結果の整理1
第9回	先行研究の課題5	第24回	結果の整理2
第10回	問題点の討論1	第25回	考察のまとめ1
第11回	問題点の討論2	第26回	考察のまとめ2
第12回	問題点の討論3	第27回	卒業論文の執筆1
第13回	問題と目的のまとめ1	第28回	卒業論文の執筆2
第14回	問題と目的のまとめ2	第29回	卒論発表予行演習1
第15回	問題と目的のまとめ3	第30回	卒論発表予行演習2

到達目標

- ・研究テーマに関わる文献、資料を収集し、内容を理解できる。
- ・これまで学んだことを心理学的視点で考えられる応用力、論理的思考力を習得する。
- ・4年間の集大成として卒業論文を書き上げることができる。

履修上の注意

- ・無断欠席はせず、欠席する場合には連絡すること。
- ・主体的に参加すること。
- ・毎回の授業内容をノート等に記録すること。

予習・復習

- ・毎回の課題について、自ら積極的に調べておくこと。

評価方法

- ・卒業論文と卒論発表、毎回の課題提出等をふまえ、総合的に評価する。

テキスト

- ・特になし。必要に応じて紹介する。

授業概要

これまでの3年間の学びを踏まえ、卒業論文又は卒業研究を執筆と提出を目的とする。

各個人で興味のあるテーマを設定し、先行研究のレビューした上で先行研究の問題点を明らかにする。卒業論文・研究において明らかにしたい事柄（目的）・仮説（予測される結果）を設定し、質問紙法・実験法・面接法などを用いて、調査研究を行う。得られたデータを入力・分析し、業論文・研究としてまとめ上げる。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	関心のある研究論文の発表 1	第 17 回	調査・実験の実施 1
第 3 回	関心のある研究論文の発表 2	第 18 回	調査・実験の実施 2
第 4 回	関心のある研究論文の発表 3	第 19 回	調査・実験の実施 3
第 5 回	テーマの再確認	第 20 回	調査・実験の実施 4
第 6 回	先行研究のまとめ 1	第 21 回	調査・実験の実施 5
第 7 回	先行研究のまとめ 2	第 22 回	データ解析 1
第 8 回	先行研究のまとめ 3	第 23 回	データ解析 2
第 9 回	先行研究のまとめ 4	第 24 回	データ解析 3
第 10 回	先行研究のまとめ 5	第 25 回	卒業論文の執筆 1
第 11 回	問題点の討論 1	第 26 回	卒業論文の執筆 2
第 12 回	問題点の討論 2	第 27 回	卒業論文の執筆 3
第 13 回	問題点の討論 3	第 28 回	卒業論文の執筆 4
第 14 回	問題点の討論 4	第 29 回	卒業論文の執筆 5
第 15 回	データ収集の準備	第 30 回	卒業発表予行演習 1
		第 31 回	卒業発表予行演習 2

到達目標

- 自分に興味・関心のあるテーマの文献、資料を収集することができること。
- 発表レポートを作成することができること。
- 他の受講生の発表に対して、自分の意見をきちんと表明できること。
- 卒業研究として実行可能な研究を立案できること。

履修上の注意

- 卒業論文の提出に向けて、計画的に研究を進めること。

予習・復習

- 授業、発表準備に時間をかけること。
- 論文発表の際、発表者以外も論文に目を通し、内容を確認しておくことが必要である。発表者が作成したレジュメによって復習をすること。

評価方法

- 提出された卒業論文の内容と1年間の講義態度を踏まえ、総合的に評価する。

テキスト

- 必要に応じて資料は配布する。
- 参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示する。

授業概要

まず、研究課題に基づく研究計画の立案に向けて指導する。次に、研究計画に沿って準備をしたうえで、滞りなく研究を実施できるように指導を進める。さらに、得られたデータを分析、解釈し、形式と内容を整えた卒業論文完成に向けて指導する。

授業計画

<前期>		<後期>	
第 1 回	研究計画の立案① (文献研究)	第 1 回	研究実施① (データ分析)
第 2 回			
第 3 回			
第 4 回	研究計画の立案② (文献研究の継続)	第 4 回	研究実施② (結果整理, データ解釈)
第 5 回			
第 6 回		第 6 回	卒業論文執筆/目次, 構成
第 7 回	研究計画の立案③ (文献研究の継続と研究計画の明確化)	第 7 回	卒業論文執筆/序論①
第 8 回		第 8 回	卒業論文執筆/序論②
第 9 回		第 9 回	卒業論文執筆/目的
第 10 回	研究実施準備① (研究方法の具体化)	第 10 回	卒業論文執筆/方法
第 11 回		第 11 回	卒業論文執筆/結果
第 12 回		第 12 回	卒業論文執筆/考察①
第 13 回	研究実施準備② (質問紙・必要備品等の準備)	第 13 回	卒業論文執筆/考察②
第 14 回		第 14 回	卒業論文執筆/結論
第 15 回		第 15 回	結果概要希望者への報告書作成

到達目標

1. 文献研究を踏まえた研究計画の立案ができる。
2. 研究倫理を適正に遵守して、研究を実施することができる。
3. 研究目的に応じた適切な手法を用いてデータ分析を行うことができる。
4. 卒業論文研究としての形式と内容を踏まえて、卒業論文を作成できる。

履修上の注意

自ら主体的、積極的に取り組むこと。

予習・復習

予習：疑問点・討論点を整理する。
復習：授業内での指導を踏まえた振り返りと作業の進行

評価方法

卒業論文研究の到達度によって評価する。

テキスト

使用しない。必要な文献は適宜紹介する。

授業概要

学校臨床心理学の領域を中心に、専門演習などの授業の蓄積した知識を踏まえて、実証研究を実施する。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	研究論文の体裁1（問題と目的）	第17回	データ収集方法の検討1
第3回	研究論文の体裁2（方法部分の記載）	第18回	データ収集方法の検討2
第4回	図表の書き方	第19回	中間構想発表会1
第5回	研究論文の結果の書き方	第20回	中間構想発表会2
第6回	考察部分の記載内容について学ぶ	第21回	データ分析結果報告1
第7回	引用文献の記載方法について学ぶ	第22回	データ分析結果報告2
第8回	関心あるテーマの発表1	第23回	分析結果を図表にまとめる
第9回	関心あるテーマの発表2	第24回	考察の執筆について
第10回	各ゼミ生の問題点の討論1	第25回	論文の中間報告1
第11回	各ゼミ生の問題点の討論2	第26回	論文の中間報告2
第12回	テーマに関する社会への応用について	第27回	論文の最終報告1
第13回	秋期の研究スケジュールについて	第28回	論文の最終報告2
第14回	春期の振り返り	第29回	まとめ1
第15回	夏休み中の作業内容の確定	第30回	まとめ2

到達目標

- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を集めることができる。
- ・興味・関心のあるテーマの文献、資料を何度も読み、内容を理解できる。
- ・科学的手法に基づき、心理学研究を実施し、論文として適切にまとめることができる。

履修上の注意

- ・学科の専門必修科目の他、学校心理学、福祉心理学、学校臨床心理学、などは参考になります。

予習・復習

- ・発表準備のための予習・発表後の振り返りは必ずするようにしてください。
- ・仲間の発表に対しても積極的な意見を発表するようにしてください。

評価方法

発表レポート(40%)、ディスカッションへの参加度(30%)、毎回提出するミニレポート(30%)などにより、総合的に評価します。

テキスト

- ・必要に応じて資料は配布します。
- ・参考書など必要なものは、講義の中で適宜指示します。

授業概要

卒業論文の執筆・提出を目的とします。

各個人で興味のあるテーマを設定し、先行研究のレビューした上で、先行研究の問題点を明らかにし、卒業論文・研究において明らかにしたい事柄（目的）・仮説（予測される結果）を設定します。

その上で、様々な方法（質問紙法、実験法、面接法）を用いて、調査研究を行います。

得られたデータを入力・分析し、仮説検証を行った上で、卒業論文・研究として執筆します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	質問紙回収
第 2 回	テーマの設定	第 17 回	データ入力
第 3 回	先行研究の精読 1	第 18 回	SPSS の操作方法
第 4 回	先行研究の精読 2	第 19 回	記述統計
第 5 回	先行研究の精読 3	第 20 回	差の検定
第 6 回	先行研究の精読 4	第 21 回	多変量解析（因子分析）
第 7 回	先行研究の問題点	第 22 回	多変量解析（相関、回帰、その他）
第 8 回	問題と目的の論文化	第 23 回	結果の読み取りと図表作成
第 9 回	調査手続きの検討	第 24 回	方法と結果の論文化
第 10 回	尺度の選定	第 25 回	考察の論文化
第 11 回	分析の検討	第 26 回	論文執筆 1
第 12 回	質問紙作成	第 27 回	論文執筆 2
第 13 回	研究倫理書類作成	第 28 回	論文執筆 3
第 14 回	調査先への依頼	第 29 回	論文執筆 4
第 15 回	質問紙配布	第 30 回	パワーポイントの作成
		第 31 回	要旨の作成

到達目標

- ・卒業論文を執筆し、卒業論文本文と要旨を提出すること
- ・自分自身の興味がある心理学的現象について理解を深めること

履修上の注意

- ・心理学の分野の中でも、パーソナリティ心理学、臨床心理学等の領域で卒業論文執筆を希望する方。
- ・積極的・主体的に授業および調査研究に参加する姿勢をもつこと。

予習・復習

授業内容の特性上、発表レジュメ作成、質問紙配布、データ分析、卒業論文執筆等があるため、授業時間外での活動があります。

評価方法

卒業論文の提出およびそれまでの授業態度を評価対象とします。

テキスト

特になし。必要があれば、授業内で別途指示します。

授業概要

心理学に関連するテーマ（特に臨床心理学・健康心理学・ポジティブ心理学・カウンセリング分野）で卒業論文を作成しようと考えている学生が対象です。この授業では、専門演習に引き続き、卒業論文の作成に取り組みます。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（発表順の決定等）	第 16 回	ガイダンス等
第 2 回	前年度の春休み中に取り組んだ卒論の	第 17 回	データ収集方法の確定とデータの収集
第 3 回	進捗状況を発表	第 18 回	
第 4 回	（1 回に 3 人の発表と質疑応答）	第 19 回	
第 5 回	前回の発表で指摘された点を改善・発展	第 20 回	
第 6 回	させた各自の発表	第 21 回	分析と結果の読み取り
第 7 回	（1 回に 3 人の発表と質疑応答）	第 22 回	
第 8 回	研究計画の確定	第 23 回	
第 9 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）	第 24 回	
第 10 回		第 25 回	本文の執筆、推敲
第 11 回		第 26 回	
第 12 回	データ収集方法の選定	第 27 回	
第 13 回	（1 回に 2 人の発表と質疑応答）	第 28 回	
第 14 回		第 29 回	本文の完成と提出、卒業論文発表会の準備と発表予演
第 15 回		第 30 回	

到達目標

4 年間の集大成として、心理学の実証論文を作成します。

履修上の注意

発表担当の週に無断欠席をした場合は、評価の対象から除外します。欠席や遅刻の扱い方は第 1 回の授業で行うので、必ず出席してください。

予習・復習

各ゼミ生の進捗状況に合わせて、次回の発表までに用意しておく資料や準備しておくレジュメ等を指示するので、指示を守ってください。指示を守れない場合、卒業研究の作成に支障を来す場合があるので自覚しておいてください。

評価方法

授業への参加態度、発表時のレジュメ、発表の仕方、レポートの内容などを総合的に評価します。

テキスト

学生が作成したレジュメを使用するため、テキストは指定しません。

授業概要

- ・自分が興味関心のある分野を広げるために、世の中の事象や時事問題について探求する。
- ・論文作成を通じて、文書の書き方、図表の作成、情報収集といった実力を習得する。
- ・文献検索をくり返し行い、情報リテラシーを高める。
- ・来年度の卒業論文作成への動機づけを高める。

授業計画

第1回	オリエンテーション	第16回	オリエンテーション
第2回	論文・資料の集め方1	第17回	より詳細な論文、資料の集め方1
第3回	論文・資料の集め方2	第18回	より詳細な論文、資料の集め方2
第4回	論文・資料の集め方3	第19回	卒業論文の書き方1
第5回	発表資料の作成方法1	第20回	卒業論文の書き方2
第6回	発表資料の作成方法2	第21回	卒業論文の書き方3
第7回	発表資料の作成方法3	第22回	各自発表：卒論進捗状況報告1
第8回	各自発表1	第23回	各自発表：卒論進捗状況報告2
第9回	各自発表2	第24回	各自発表：卒論進捗状況報告3
第10回	各自発表3	第25回	各自発表：卒論進捗状況報告4
第11回	各自発表4	第26回	各自発表：卒論進捗状況報告5
第12回	各自発表5	第27回	各自発表：卒論進捗状況報告6
第13回	各自発表6	第28回	各自発表：卒論進捗状況報告7
第14回	各自発表7	第29回	まとめ
第15回	まとめ	第30回	卒論発表予行演習1回目
		第31回	卒論発表予行演習2回目

到達目標

- ・できるだけ早めに卒業論文で書こうとするテーマをしぼっていく。
- ・テーマに関連する文献や資料を収集する力をつける。
- ・文献や資料の内容を理解できるようにする。
- ・毎日の授業をメモ、ノートを取り、理解力を高める。

履修上の注意

- ・演習は学生主体で行われるものなので、無断欠席は認めない。出席できないときは必ず「ほうれんそう：報告・連絡・相談」をすること。全出席するという強い意志を持って参加すること。

予習・復習

- ・授業の準備に時間をかけること。
- ・スマホだけでなく、自分の頭、手、耳、目、足など体を活用して調べること。

評価方法

評価基準は授業への参加と発表(3割)、授業中の課題への取り組み(3割)、期末試験(4割)である。

テキスト

最初の授業で紹介する。その他参考書等については、必要に応じて授業の中で紹介する。

授業概要

卒業論文の完成が目的であるが、そのために行わなければならないことがある。それが授業計画に示されていることである。相当な数であることに驚くかもしれないが、ひとつひとつをこなしていけば、たいしたことではない。しっかりと進めていこう。先行研究について確認をした上で何が問題点であるのかを検討します。問題点を考えて卒論の調査研究に進んでみましょう。調査目的を自身で設定し、仮設の設定を行います。ここから実際に調査を実施することになります。調査により、データを取るようになるが、ここからコンピュータにデータを打ち込み、解析をするということになります。この後のことはゼミでお話します。しっかりやっていきましょう。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	オリエンテーション
第 2 回	教員による研究論文の発表	第 17 回	調査方法、解析の検討 1
第 3 回	テーマの設定	第 18 回	調査方法、解析の検討 2
第 4 回	先行研究の発表 1	第 19 回	調査の実施 1
第 5 回	先行研究の発表 2	第 20 回	調査の実施 2
第 6 回	先行研究の発表 3	第 21 回	データ入力
第 7 回	先行研究の解釈	第 22 回	SPSS の復習 (操作方法) と解析 1 (記述統計)
第 8 回	問題点の議論 1	第 23 回	SPSS による解析 2 (相関分析)
第 9 回	問題点の議論 2	第 24 回	SPSS による解析 3 (多変量解析)
第 10 回	目的の作成 1	第 25 回	卒業論文の執筆 1
第 11 回	目的の作成 2	第 26 回	卒業論文の執筆 2
第 12 回	論文の収集 1	第 27 回	卒業論文の執筆 3
第 13 回	論文の収集 2	第 28 回	卒論発表演習 1
第 14 回	問題と目的の議論	第 29 回	卒論発表演習 2
第 15 回	第 14 回までのまとめ	第 30 回	全体的なまとめ

到達目標

- ・研究テーマを設定し、テーマに関わる文献の収集でき、それらを理解できる。
- ・質問紙を科学的な方法で作成できる。
- ・課題に合った統計解析を実行できる。
- ・結果を論理的、客観的に利用できる。

履修上の注意

- ・無断欠席はしないこと。
- ・重要な点は「ノート」に記述すること。
- ・3年生までに受けた調査はどのようなものであったか、思い出してみよう。

予習・復習

毎回のレジュメは自宅等で必ず確認をしておくこと。つまり、「復習」がよい効果をもちます。

評価方法

卒業論文および卒論ゼミにおける発表を含めた普段の様子（意見を述べることなど）を評価対象とします。

テキスト

こちらでテキストを用意します。

授業概要

知覚心理学・認知心理学・生理心理学などの基礎領域に関するテーマにおける実験的研究を实践し、論文の執筆・提出を行うことを目的としています。各個人で、研究テーマを設置し、先行研究のレビューを行い問題点を整理することで、研究目的や仮説を明確にします。研究目的に沿って、実験を計画・実施し、収集したデータの分析および考察を行ったうえで、卒業論文としてまとめます。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション	第 16 回	
第 2 回	研究テーマ選択	第 17 回	
第 3 回	先行研究の精読：問題点の整理	第 18 回	本実験：完了
第 4 回		第 19 回	データ解析
第 5 回		第 20 回	
第 6 回		第 21 回	結果の整理：読み取り・図表作成
第 7 回	研究計画：仮説構築	第 22 回	方法・結果の論文化
第 8 回	目的の論文化	第 23 回	考察
第 9 回	実験計画：手続き・分析の検討	第 24 回	考察の論文化
第 10 回		第 25 回	論文執筆
第 11 回	実験実施準備	第 26 回	
第 12 回		第 27 回	
第 13 回	予備実験	第 28 回	発表要旨・発表資料（スライド）の作成
第 14 回		第 29 回	
第 15 回	本実験：開始	第 30 回	
		第 31 回	まとめ

到達目標

- 自身の興味関心のある心理学的現象について深く理解し説明できる。
- 研究計画を立案、実施し、その成果を卒業論文または卒業研究としてまとめて報告することができる。

履修上の注意

- 遅刻・欠席はしないこと。
- 課題や討論に主体的・積極的に取り組むこと。
- 授業計画の時期・項目は、研究を計画的に進めるためのマイルストーンであり、その期間に該当事項の進捗報告が求められる。

予習・復習

- 授業計画の時期・項目に従って計画的に研究を進めるために、授業時間外で多くの活動を自主的に進める。
- 進捗状態に合わせて随時指導教員と
- 研究ノートを作成する。

評価方法

授業への参加態度（30%）、発表（資料含、20%）、卒業論文（50%）から総合的に評価する。

テキスト

テキストは指定しない。授業内で、参考書など必要な資料を適宜紹介します。